

2026年度

 清水建設全国連合兼喜会

第67回 定時総会

(北陸大会)

議 事 資 料

自 2025年1月1日 (令和7年1月1日)
至 2025年12月31日 (令和7年12月31日)

日 時 2026年5月15日(金)
場 所 石川県立音楽堂 邦楽ホール

目 次

1. 大会日程	1
2. 総会次第	2
3. 議案目次	3
3-1 第1号議案 2025年度事業報告	5
①会員の動静	5
②第66回定時総会	6
③支部長会議	8
④全国連合兼喜会 感謝の会	9
⑤兼喜会報	10
⑥人権啓発講演研修会	10
⑦清水建設(株)物故職員並びに取引業者従業員殉職者法要	10
⑧後継者育成研修	10
⑨災害防止活動	11
⑩協力会社災害互助会活動	12
3-2 第2号議案 2025年度決算報告	13
3-3 第3号議案 2025年度会計の認証	15
3-4 第4号議案 2026年度事業計画案	17
3-5 第5号議案 2026年度予算案	19
3-6 第6号議案 次期総会開催支部	21
4. 大会宣言	23

参加者名簿

来賓名簿 別冊

各支部参加者名簿 別冊

以 上

1. 大会日程

2026年5月15日(金)～16日(土)

於 石川県立音楽堂 邦楽ホール

支部長会議	14:00～15:00	ANAクラウンプラザホテル金沢 3F 瑞雲
総会受付登録	14:30～16:00	ANAクラウンプラザホテル金沢 1F ロビー
役員記念写真	15:00～15:30	石川県立音楽堂 交流ホール
定時総会	16:00～17:30	石川県立音楽堂 邦楽ホール
懇親会	18:00～20:30	ANAクラウンプラザホテル金沢 3F 鳳の間

～．～

石川県立音楽堂 邦楽ホール
〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1
TEL.076-232-8111

ANAクラウンプラザホテル金沢
〒920-8518 石川県金沢市昭和町16-3
TEL.076-224-6111

2. 総 会 次 第

司 会 (北 陸) 辻 匡

1. 2025年度物故会員の報告と黙祷

2. 開 会 の 辞 北陸兼喜会副会長 伊 藤 潔

3. 会 長 挨 拶 全国連合兼喜会会長 青 木 茂

4. 議 長 選 出 北陸兼喜会会長 青 山 悟

5. 議 案

(1) 2025年度事業報告 副 会 長 石 井 映 雄

(2) 2025年度決算報告 副 会 長 多 賀 谷 充

(3) 2025年度会計の認証 会 計 監 事 浅 岡 新 二

(4) 2026年度事業計画案 副 会 長 江 崎 竜 優

(5) 2026年度予算案 副 会 長 多 賀 谷 充

(6) 次期総会開催支部の決定 会 長 青 木 茂

(7) 各支部代表提案

6. 来 賓 紹 介

7. 歓 迎 の 辞 清水建設株式会社 執 行 役 員
北 陸 支 店 長 角 野 淳 一 郎 様

8. 来 賓 祝 辞 清水建設株式会社 代表取締役社長 新 村 達 也 様

9. 清水建設(株)より助成金の贈呈 清水建設株式会社 代表取締役社長 新 村 達 也 様

10. 大 会 宣 言 北陸兼喜会総務理事 豊 蔵 享 一

11. 次期総会開催支部への会旗伝達 全国連合兼喜会会長 青 木 茂

12. 次期総会開催支部長の挨拶 北海道兼喜会会長 嶋 守 吉 範

13. 閉 会 の 辞 北陸兼喜会副会長 栗 山 公 伸

以 上

3. 議 案 目 次

3-1	第1号議案	2025年度事業報告……………	5
3-2	第2号議案	2025年度決算報告……………	13
3-3	第3号議案	2025年度会計の認証……………	15
3-4	第4号議案	2026年度事業計画案……………	17
3-5	第5号議案	2026年度予算案……………	19
3-6	第6号議案	次期総会開催支部……………	21

以 上

議 事 資 料

3-1 2025年度 事業報告

①会員の動静

①-1 会員数

次のとおり、会員の増減があった。

	東京	名古屋	近畿	広島	四国	九州	北陸	東北	北海道	関東	横浜	千葉	計
2024年度	174	108	98	91	85	116	118	101	127	131	59	67	1275
2025年度	173	108	96	91	82	115	116	100	125	135	61	66	1268
増 減	-1	0	-2	0	-3	-1	-2	-1	-2	+4	+2	-1	-7

①-2 叙勲等受章の状況

2025年度に次表のとおり、2名の方が叙勲、国家褒章を受章された。

会則第16条にもとづいてそれぞれ祝意を表した。

支部名	受章日	会社名	氏名	受章名
名古屋	2025. 秋	(株)中央鐵骨	玉木 信介	旭日双光章
近 畿	2025. 秋	(株)堀内工務店	堀内 偉也	黄綬褒章

①-3 物故会員

2025年度に7名の方がご逝去された。

会則第16条にもとづいてそれぞれ弔意を表した。

支部名	逝去年月日	会社名	物故会員氏名(行年)
名古屋	2025. 1. 19	(株)真和鋼業	宮越 隆充殿 (58才)
千 葉	2025. 4. 7	(株)石井組	伊藤 博樹殿 (67才)
関 東	2025. 4. 21	(株)明德	篠原 文彦殿 (59才)
九 州	2025. 7. 5	山喜建設(株)	山田 泰男殿 (65才)
東 京	2025. 9. 19	東光園緑化(株)	田丸 敬三殿 (56才)
北 陸	2025. 10. 8	金岡忠商事(株)	金岡 寛殿 (85才)
千 葉	2025. 11. 16	三協立山(株)三協アルミ社	津川 靖殿 (58才)

②第66回定時総会(九州大会)

日 時 2025年 5月16日(金) 15:00~16:20
場 所 「ソラリア西鉄ホテル福岡」 (福岡市中央区天神)
参加者 兼喜会 307名
清水建設(株) 新村社長 様 他 41名

- (1)2024年度物故会員5名の報告と黙とうの後、篠森九州兼喜会会長より開会の辞があり、引き続き全国連合兼喜会中橋会長が挨拶をした。
篠森九州兼喜会会長を議長に選出して議案の審議をした。
- (2)2024年度事業を石井副会長が報告し了承した。
- (3)2024年度決算を青木副会長が報告し了承した。
- (4)2024年度会計の認証を田畑会計監事が報告した。
- (5)2025年度(令和7年度)事業計画案を江崎副会長が説明し議決した。
- (6)2025年度(令和7年度)予算案を青木副会長が説明し議決した。
- (7)次期総会(令和8年度)開催支部を北陸兼喜会と了承した。
- (8)清水建設(株)執行役員湯原九州支店長様に歓迎の辞をいただいた。
- (9)清水建設(株)新村社長様に祝辞をいただいた。
- (10)清水建設(株)新村社長様に助成金の目録をいただいた。
- (11)次のとおり篠森九州兼喜会会長が大会宣言を行った。

『大会宣言』

220年前の文化元年に創業した清水建設。

「建設」を通して数多の顧客の要望に応え、地域社会に貢献し、信用を積み重ね、輝かしい発展を遂げられ今日に至ります。

偉大なる先人たちは、激変する時代の荒波を乗り越え、時代の変化に適合しながら技術革新を起こし、220年という時を経て今ここにいる私達にバトンを渡しました。

これからも計り知れない試練があることでしょう。逃げ出したくなるような困難もあることでしょう。そのような試練や困難が多いほど、乗り越えた喜びは格別なものであると確信しております。

私たちは兼喜会である責任と覚悟を強く持ち、名義人である喜びを確かなものにし、さらに良きものに昇華させ次世代にこのバトンを継承していかなければなりません。

新村新社長の掲げる「原点回帰」の精神を胸に、清水建設の更なる発展、飛躍の礎となれるよう一枚岩となってこの九州の地から宣言致します。

- 一 三方よしの精神でものづくりの原点に戻る
- 一 甚大化する自然災害から人々の生命と財産を守る
- 一 温故創新の精神を心に刻み、未来志向で挑戦し続ける
- 一 安全安心の為、基本を守り信用を積み重ね、信頼して頂けるよう 精進する
- 一 清水建設の強固な礎となるよう互いに切磋琢磨し成長し続ける

令和7年5月16日

清水建設全国連合兼喜会 第66回定時総会

九州兼喜会会長 篠森 義晴

(12)九州兼喜会篠森会長から次期開催支部の北陸兼喜会青山会長へ会旗の伝達が行われた。

(13)次期開催支部の北陸兼喜会青山会長より挨拶があった。

(14)九州兼喜会島田副会長より閉会の辞が述べられた。

③支部長会議

③-1 第1回支部長会議

日 時 2025年 3月14日(金) 12:00～15:00

場 所 「帝国ホテル 桜の間」

出席者 会長以下 41名

来 賓 清水建設(株) 井上社長様
池田副社長様
新村副社長様
山崎専務様
山岡購買本部長様
塚田安全環境本部長様

(1)2024年度決算報告を承認した。

(2)2025年度(令和7年度)事業計画案並びに予算案を了承した。

(3)第66回定時総会(九州大会)の開催要領について了承をした。

(4)安全ポスターのデザインを決定し配布することを決定した。

(5)第33回後継者育成研修開催日を決定した。

(6)安全衛生推進大会の開催日を確認した。

(7)第3回支部長会議は広島兼喜会が担当する事とし、広島市で行われる事を確認した。

(8)第67回定時総会(北陸大会)の日時・場所を確認した。

(9)清水基金について収支報告がされた。

③-2 第2回支部長会議

日 時 2025年 5月16日(金)

場 所 西鉄グランドホテル

出席者 会長以下 46名

- (1)全国連合兼喜会第66回定時総会(九州大会)の開催要領を確認した。
- (2)第3回支部長会議がグランドプリンスホテル広島で行われる開催日程を承認した。
- (3)第33回後継者育成研修の開催日程を確認した。
- (4)第67回定時総会(北陸大会)の開催要領について確認した。

③-3 第3回支部長会議

日 時 2025年10月17日(金)

場 所 グランドプリンスホテル広島(広島市宇品)

出席者 会長以下 36名

- (1)2025年度中間決算報告を承認した。
- (2)2026年度(令和8年度)事業計画案を了承した。
- (3)第67回定時総会(北陸大会)について大会要領の説明があった。
- (4)第68回定時総会(北海道大会)の開催について北海道兼喜会嶋守会長から説明があった。
- (5)第33回後継者育成研修の開催要領の説明があった。
- (6)2026年度伊勢神宮安全祈願の日程が報告された。
- (7)全国連合兼喜会定時総会・第3回支部長会議 開催支部ローテーションの確認があった。
- (8)全国WG(生産性向上・担い手確保/育成・産業政策推進)の報告があった。
- (9)2026年度第1回支部長会議の日程が報告された。

④全国連合兼喜会 感謝の会

④-1 「全国連合兼喜会 感謝の会」

日 時：4月15日(火) 18時～

場 所：帝国ホテル東京 本館4F 桜の間

参加者：清水建設(株) 井上会長様・新村社長様はじめ 32名

全国連合兼喜会 中橋会長 以下81名

※井上会長様・新村社長様のお取り計らいにより「感謝の会」を催して頂いた。

⑤兼喜会報

次のとおり会報を発行し、会員並びに清水建設(株)及び関係団体に配布した。

号数	発行日	発行部数	号数	発行日	発行部数
第223号	2025. 1. 24	2,330	第225号	2025. 9. 25	2,300
第224号	2025. 5. 30	2,340	計 6,970部		

⑥人権啓発講演研修会

日時 2025年9月26日(金) 13:20~14:20
場所 シミズホール
講師 部落解放同盟 中央執行委員長 西島 藤彦氏
演題 これからの部落解放運動 -現状と課題-

⑦清水建設(株)物故職員及び取引業者従業員殉職者法要

東京兼喜会、副会長4名が会を代表して参列し弔意を表した。

日時 2025年10月17日(金) 15:00~
場所 東京都豊島区 巣鴨本妙寺

⑧第33回後継者育成研修

日時 2025年11月20日(木)~21日(金)

場所: 清水建設(株)本社 2F シミズホール

参加者: 研修生 → 支部より27名 (人選は各支部に一任)

兼喜会 → 正副会長, 東京兼喜会青年部部長・部員 10名

講師 → 清水建設(株) 代表取締役副社長

土木総本部長 池田謙太郎 様
清水建設(株) 代表取締役副社長
建築総本部長 堤 義人 様
清水建設(株) 執行役員 安全環境本部長 塚田 泰三 様
清水建設(株) 建築総本部 購買本部長 山岡 正徳 様

カリキュラム：

11/20(木) 《研修》 於:清水建設(株)本社 2F 「シミズホール」

開会	全国連合兼喜会副会長	青木 茂
挨拶	全国連合兼喜会会長	中橋 博治
講話	代表取締役副社長 土木総本部長	池田謙太郎 様
講話	代表取締役副社長 建築総本部長	堤 義人 様
講話	建築総本部 購買本部長	山岡 正徳 様
講話	執行役員 安全環境本部長	塚田 泰三 様

《懇親会》 於: 清水建設(株)本社 4F 食堂「スエヒロ」 (立食パーティ)

- 1) 清水建設(株)ご来賓の紹介
- 2) 挨拶 全国連合兼喜会会長 中橋 博治
- 3) 挨拶及び乾杯 代表取締役副社長 土木総本部長 池田謙太郎 様
- 4) 手締め

11/21(金) 《見学会》 於: 「技術研究所」

見学会 10:00~12:00

※終了後、東京駅にて解散

⑨災害防止活動

安全ポスターの作成と配布

2024年度の安全週間の準備月間にあたり、次のとおり安全ポスターを作成し配布した

支部名	枚数	支部名	枚数
東京	177	北陸	120
名古屋	217	東北	102
近畿	100	北海道	128
広島	100	関東	132
四国	100	横浜	63
九州	170	千葉	70
		合計	1,465



⑩協力会社災害互助会活動

⑩-1 互助会定時総会

日 時 2025年3月14日(金) 15:00~15:30

場 所 「帝国ホテル 桜の間」

出席者 会長以下 41名

- (1)2024年度事業報告並びに決算報告を承認した。
- (2)2025年度予算案を承認した。
- (3)各支店災防協へ災害防止活動費を支給することを承認した。
- (4)共栄火災に支払う保険料について確認した。

⑩-2 2025年度(令和7年)12月31日現在の会員数
5,428社 (昨年度より170社の減)

⑩-3 2025年度(令和7年)の互助金支給

(共栄火災海上保険(株)より)

支部名	支給種類	事故発生日	支給額	支給日
-----	------	-------	-----	-----

該当なし

以上

3-3 2025年度会計の認証

2025年度(2025年1月1日～2025年12月31日)における
決算報告書、並びに会計帳簿、及び証拠書類について、
慎重に監査を行なったところ、いずれも正確であることを
認め、ここにご報告いたします。

2026年1月26日

会計監事 田 畑 博 章

〃 樋 脇 毅

清水建設全国連合兼喜会 2026年度(令和8年) 事業計画(案)

第4号議案

事業項目	事業内容	実施時期												担当	備考		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
兼 喜 会	1 定時総会の開催	恒例事業					○								北 陸	5月15日	
	2 正副会長会議の開催	〃	←-----→													必要に応じ随時開催	
	3 支部長会議の開催	〃			○		○					○			本 部	3月26日 東京 合同懇親会 5月15日 北陸 10月16日 東京	
	4 兼喜会報の発行	〃	226号				227号				228号				本 部	各兼喜会より記事	
	5 改善活動	〃	←-----→												各兼喜会		
	6 情報化推進活動	〃	←-----→												各兼喜会		
	7 後継者育成研修の実施	〃											○		本 部	各兼喜会より研修生	
	8 殉職者法要への参加	〃										○			本部が代表		
	9 慶弔事項の対応	〃	～発生の都度～												本部・各兼喜会		
	10 安全祈願(日枝神社・伊勢神宮・西新井大師)	〃	○日枝神社1/8・伊勢神宮1/30							○ 西新井						本部・総務	西新井は全国災防協として
	11 安全ポスターの作成と配布	〃				○									本 部		
	12 会員名簿の作成と配布	〃					○								本 部		
	13 BCP・震災訓練への参加	〃			○						○				本 部	3月BCP訓練 9月は震災訓練	
	14 連合兼喜会研究会活動の参画	〃	←-----→												各兼喜会	購買本部と連携	
	15 CCUSの啓蒙(加入促進・タッチ率向上)	〃	←-----→												本部・各兼喜会	購買本部と連携	
関 連 事 業	16 労働災害福祉共済(協力会社共済会)の事務	恒例事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本 部		
	17 清水基金の管理	〃	←-----→												本 部		

清水建設全国連合兼喜会 2026年度予算（案）

（自 2026年1月1日～至 2026年12月31日）

第5号議案

収 入 の 部						支 出 の 部					
種 目	2025年度予算	2025年度決算	摘 要	2026年度予算	摘 要	種 目	2025年度予算	2025年度決算	摘 要	2026年度予算	摘 要
1. 前期繰越金	40,484,590	40,484,590		41,141,216		1. 会議費	5,500,000	3,574,429		5,500,000	
2. 会費	6,385,000	6,380,000		6,370,000		2. 総会費	10,000,000	10,344,410		10,000,000	
3. 清水建設より助成金	5,000,000	5,000,000		5,000,000		3. 交際渉外費	150,000	0		150,000	
4. 会報収入	450,000	450,000		450,000		4. 通信費	200,000	95,900		200,000	
5. 安全広報費	260,000	221,850		260,000		5. 事務用品及び印刷費	400,000	0		400,000	
6. 受取利息	3,000	44,626		50,000		6. 運営費	1,000,000	1,000,000		1,000,000	
7. 雑収入	0	36,000		0		7. 慶弔費	1,000,000	350,000		1,000,000	
8. 清水基金より	10,000,000	10,000,000		10,000,000		8. 交通費	500,000	359,980		500,000	
						9. 会報費	3,800,000	3,275,140		3,800,000	
						10. 後継者育成研修費	1,500,000	1,344,011		1,500,000	
						11. 安全広報費	300,000	293,920		350,000	
						12. 安全活動費	1,000,000	838,060		1,200,000	
						13. 名簿代				2,000,000	
						14. 厚生費	50,000	0		50,000	
						15. 予備費	37,182,590			35,621,216	
						16. 次期繰越金		41,141,216			
合 計	62,582,590	62,617,066		63,271,216		合 計	62,582,590	62,617,066		63,271,216	

3-6 次期総会開催支部(案)

2027年(令和9年) 第68回定時総会開催支部 北海道兼喜会

参 考 定時総会開催支部

支部名	開催年度	開催年度	開催年度	開催年度	開催年度	開催年度	開催年度	開催年度
東 京	第1回(35年)	第10回(44年)	第20回(54年)	第30回(H.元年)	第40回(H.11年)	第50回(H.21年) 第52回(H.23年) 第56回(H.27年)		
近 畿	第2回(36年)	第12回(46年)	第21回(55年)	第31回(H.2年)	第41回(H.12年)	第51回(H.22年)	第60回(R.元年)	-----
名古屋	第3回(37年)	第11回(45年)	第19回(53年)	第29回(63年)	第42回(H.13年)	第49回(H.20年)	第59回(H.30年)	-----
北海道	第4回(38年)	第14回(48年)	第22回(56年)	第32回(H.3年)	第43回(H.14年)	第54回(H.25年)	第63回(R.4年) 中止	
九 州	第5回(39年)	第13回(47年)	第23回(57年)	第33回(H.4年)	第44回(H.15年)	-----	-----	第66回(R.7年)
東 北	第6回(40年)	第15回(49年)	第24回(58年)	第34回(H.5年)	第45回(H.16年)	第55回(H.26年)	第64回(R.5年)	-----
広 島	第7回(41年)	第16回(50年)	第25回(59年)	第36回(H.7年)	第46回(H.17年)	第58回(H.29年)	-----	-----
四 国	第8回(42年)	第17回(51年)	第26回(60年)	第35回(H.6年)	第47回(H.18年)	第57回(H.28年)	-----	-----
北 陸	第9回(43年)	第18回(52年)	第27回(61年)	第37回(H.8年)	第48回(H.19年)	第53回(H.24年)	第62回(R.3年) 中止	第67回(R.8年)
関 東	-----	-----	-----	-----	-----	-----	第61回(R.2年) 中止	第65回(R.6年)
横 浜	-----	-----	第28回(62年)	第38回(H.9年)	-----	-----	-----	-----
千 葉	-----	-----	-----	第39回(H.10年)	-----	-----	-----	-----

4. 大 会 宣 言

能登は優しや土までも
ずっと語り続けられてきた、能登の素朴さと温かさを伝える表現です
元旦の夕方、そんな能登がゆれました
人それぞれのお正月
つい先ほどまであった、あたりまえ
何抵抗をするすべもなく
ある村はつぶれ、ある町は燃え尽きました

清水もお正月でした
ひとり、ひとりのいつも通りのお正月でした
しかしその時、彼らは動きます
まだ、誰からもたのまれていないのに
俺たちにしかできない、その一念で
兼喜も動きました
清水が行くなら俺も行くとの思いで

道なき道、水も電気も携帯もなき道
先の見えない極寒の暗闇を突き進む
ただ、ただ突き進む

能登の人達の目に、清水建設のヘルメットが写った時
何を思ったでしょう
兼喜の姿を見たとき
何を感じたでしょう
それはきっと、絶望の暗闇にさす一筋の希望の光であったと思います

清水にしかできないこと
兼喜にしかできないこと
子供たちに誇れる仕事
あらためて、能登に思いをよせ、能登の復興に全力で進んでいきます

進め、清水建設
頑張ろう、兼喜会

令和8年5月15日

北陸兼喜会総務理事 豊蔵 享一

— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.

